

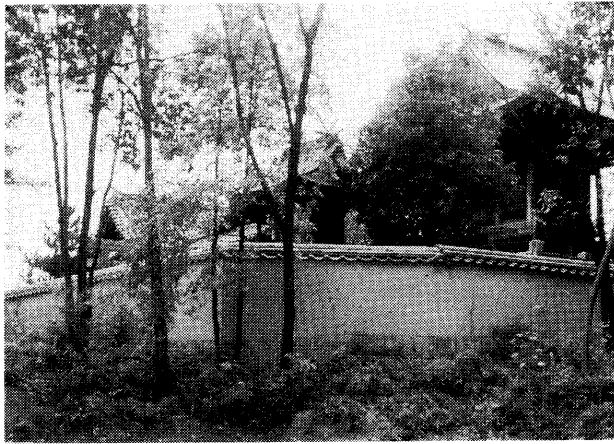
石高神社

第十七号

土塀修理事会計報告

瓦の調達の関係で工事が遅れていましたが、今年の春に土塀修理が完了しました。漆喰は塗っていませんが、土だけの色も落ち着いた雰囲気ではなかなか良いとの好評を得ています。その際には、ご浄財をご寄進いただきましたありがとうございます。紙面を借りて厚くお礼申し上げますと共に左記に収支報告をさせていただきます。

なお剰余金は、壊れている拝殿周囲の戸の新調に充てさせていただきます。秋の総代会で決まりました。これは予定にはなかつたことです。が、大なり小なり壊れていた戸のうち、三枚が使用不能になったため、これを機会に新調することに決めたものです。費用は約八〇万円がかかりますが、早速発注させていただきました。遅くとも正月までには新しい戸がはまることになっていきます。



発行日 平成十一年十二月十五日
 発行者 石高神社宮司 高原 章兆
 発行所 岡山市円山八五三

収入の部

寄付金 三、三八二、六〇〇円
 預金利息 四、五三三円
 計 三、三八七、一一三円

記

支出の部

趣意書印刷 二七、〇〇〇円
 奉加帳 六、三二〇円
 領収証 一、七五一円
 仮設便所設置 一五五、八二〇円
 土塀修理工事 二、二二六、〇〇〇円
 剰余金 九七〇、二二二円
 計 三、三八七、一一三円

宮山の手入れと将来

平成九年に宮山の手入れを久しぶりに行いましたが、これは自動車参道ができて以来のことでした。以来今年の十二月で四度目の手入れを行うこととなりますが、少しずつきれいになってまいりました。毎回大勢の方々のご奉仕をいただき、ありがとうございます。

さて、明治二十七年の当社の記録によりますと、「凡そ百五十年以上の老松此処彼処に散在老幹枝垂せり」とあります。また、昭和四十年ごろまでは、まづごかきや下草刈りが日常的に行われ、マツタケやジイタケ（アマタケ）のようにマツの根に菌根を作つて共生しているキノコも採取できました。マツのような陽樹は放置しておけば、やがて陰樹に取つて代わられる運命にあります。今のように腐食質が多くなつては、難しいかも知れませんが、できるだけマツの木を生かして行きたいと考えています。したがつて、当面マツの木が残っている自動車参道周辺区域の整備を中心に考えていく予定です。他の区域については、鎮守の森としての景観と防災の面から検討中です。

石高神社社年間行事

以前社報で紹介したことがありますが、すでに十年以上経過しており、ご要望もありましたので、紹介させていただきます。

◎歳旦祭

一月一日午前〇時より歳旦祭を行います。この直後、または三が日の午前九時ごろから夕方まで、新年祈禱を行っています。新しい年を迎えて感謝するとともに、新しい年が良い年でありますようにご祈念いたします。

◎どんど焼き

一月十五日午前十時より境内にて正月のお飾りを焼きます。合わせて古札焼却も行いますので、古い御神札は正月に、お飾りは当日ご持参ください。来年からはこの日が祭日ではなくなりますので、少し方式を変えさせていただきます。なお、昨今問題になっているダイオキシンの発生観点から、プラスチック

ク類はなるべくはずしてご持参ください。

◎厄払い

二月一日が厄払いの日となっています。厄歳、祝歳の方はこの日または正月三が日、一月中の休祭日にお参りください。これまで無事に過ごせたご加護に感謝し、厄災を逃れ、今後の一層のご加護を願います。

◎春祭り祭典

五月中旬の日曜日の午前九時半から氏子総代が参列して五穀豊穡・氏子中安全を祈願致します。

◎輪くくり(夏祭り)

七月三十一日の晚六時から九時前までにお参りください。年の前半の罪・汚れを祓い清めるとともに疫病から身を守るお祭りです。「ひとがた」に家族の生まれ歳の干支、男女の別などを書いて身を払つてご持参ください。夜店も出て賑わいます。

◎秋祭り

十月三日から五日までが秋祭りです。三日の晩が氏参りの日になっており、この日は夜店やはっぴ姿の子供達とで賑わいます。晚六時ごろから九時前にお参りください。五日は朝九時半から氏子総代が参列して収穫を感謝し、氏子中安全を祈願する祭典を行います。

◎七五三詣

氏神様にお参りし、ここまで成長したお礼を言い、以後の無病息災を祈願します。十一月十五日または前後の休祭日にお参りください。

その他、宮参り、当病平癒祈願（御祈禱）、家祈禱、地鎮祭等随時致しておりますが、宮司が平日は勤めに出ておりますので、休祭日や早朝にお申し付けください。